

2025年12月期 第1四半期決算説明会

YCPホールディングス (グローバル) リミテッド
2025年5月15日

アジェンダ

- はじめに
- 2025年12月期 第1四半期業績
- 各事業のご紹介：マネジメント・サービス事業
- 各事業のご紹介：プロフェッショナル・ソリューション事業
- 各事業のご紹介：プリンシパル投資事業
- 2025年12月期 業績予想
- 質疑応答

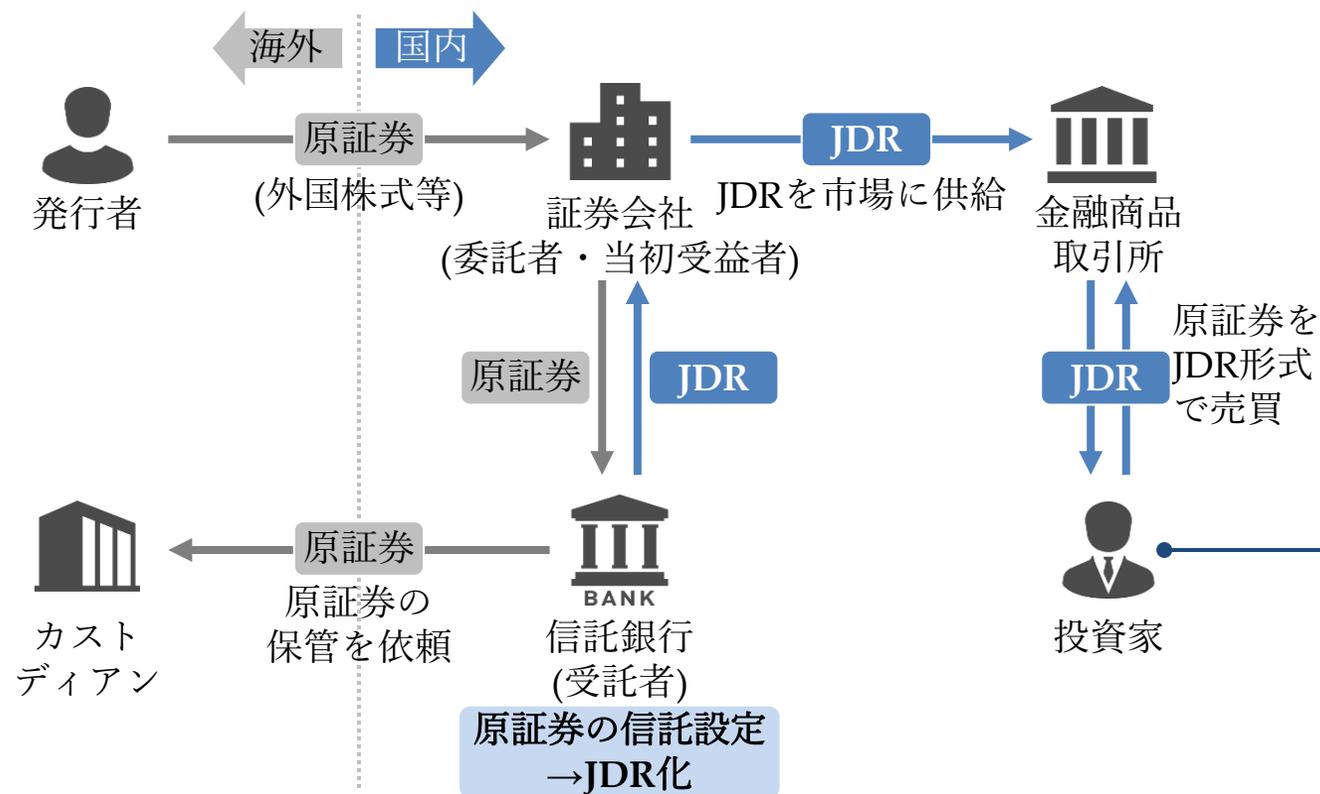
はじめに



はじめに：JDR (日本型預託証券) とは

- 米国におけるADR等を参考に、2007年9月の金融商品取引法改正で導入、2017年9月にJDR銘柄が東証に初上場
- 投資家：国内株式等と同じ取引・税制の適用を受けながら、日本円・日本時間で外国企業への投資が可能になる
- 発行者：取引規模が大きく安定した日本の証券市場を通じて資金調達を行うことができる

JDRの発行スキーム*1



JDRのポイント

取引	<ul style="list-style-type: none"> • 全国の証券会社を通じて売買可能 • 特定口座の取引対象となり、外国証券取引口座の開設も不要 • 日本円による決済・分配金受け取り • 税制も国内株式と同様
株主総会	<ul style="list-style-type: none"> • 発行会社の株主はJDR受託者 (信託銀行) となるため、JDR投資家は、株主総会には出席できないが、発行会社が実施するJDR投資家説明会等で対話が可能
議決権行使	<ul style="list-style-type: none"> • JDR投資家は原株式の議決権を直接行使することはできないが、JDR受託者に対して議決権の行使指図を行うことにより、間接的に議決権を行使することが可能

*1：日本取引所グループホームページ掲載のJDRの発行スキーム (例) より引用。 <https://www.jpx.co.jp/equities/listing-on-tse/new/basic/05.html>

投資参考指標のご案内

指標算出に 使用した株価：	607 円	2025年5月12日現在の東証グロース市場における当社JDRの終値
発行済株式総数：	22.3 百万株	2025年5月12日現在の発行済株式総数
上場JDR数：	21.9 百万口	2025年5月12日現在の上場JDR数 (発行済株式総数のうちJDRの信託設定が行われた株数)
時価総額：	135.3 億円	2025年5月12日現在の終値607円×同日現在の発行済株式総数22,294,192株で算出
予想PER：	22.61 倍	2025年5月12日現在の終値607円÷FY2025通期の予想EPS0.18米ドルで算出
実績PBR：	1.00 倍	2025年5月12日現在の終値607円÷FY2025 Q1の実績BPS4.02米ドルで算出
予想ROE：	4.3 %	FY2025通期の当期利益予想4,002千米ドル÷FY2025 Q1の純資産93,774千米ドルで算出
予想ROA：	2.9 %	FY2025通期の当期利益予想4,002千米ドル÷FY2025 Q1の総資産138,386千米ドルで算出
株主資本比率：	67.8 %	FY2025 Q1の純資産93,774千米ドル÷FY2025 Q1の総資産138,386千米ドルで算出

注：日本円への換算は、1ドル=149.53円(2025年3月31日の為替レート)により計算

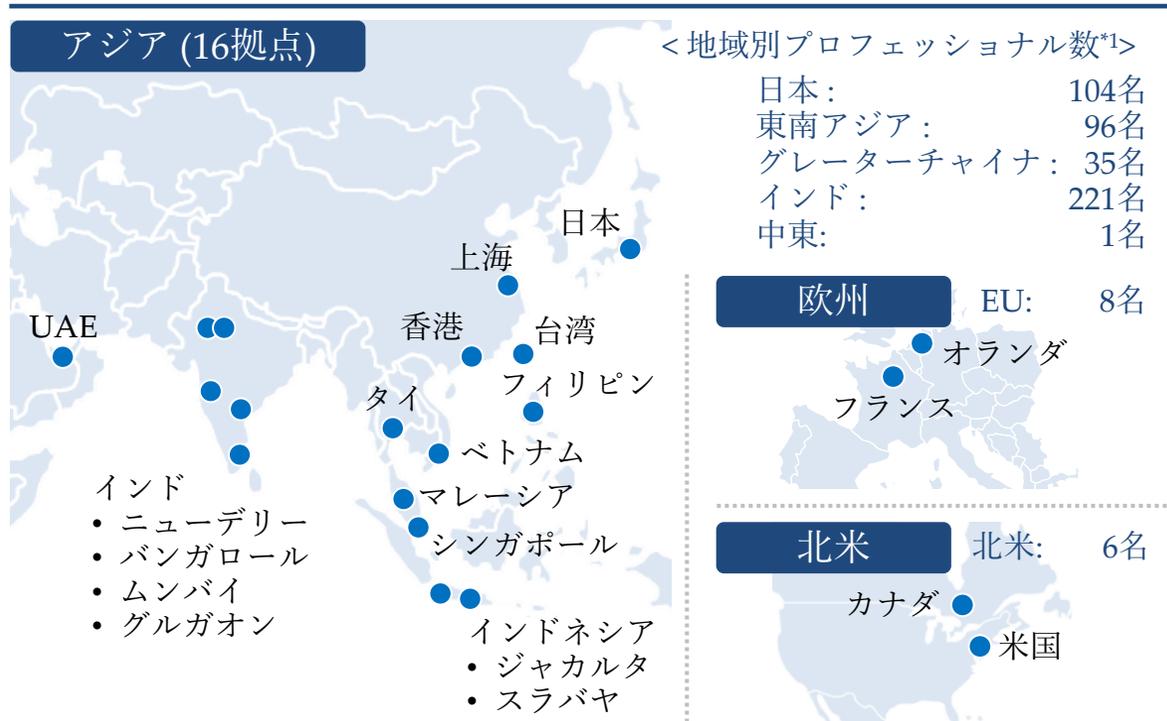
会社概要

YCPホールディングスは、2011年8月創業の株式会社ヤマトキャピタルパートナーズ(現・株式会社YCP Japan)にて事業を開始し、国際色豊かな組織を実現するため、2014年よりグループの社名をYCPに改めると共に香港を拠点とするホールディングス化を実施。2021年、シンガポールにグループ統括機能を担う当社(YCP Holdings (Global) Limited)を設立し、東京証券取引所マザーズ(現・グロース)市場に上場

YCP概要

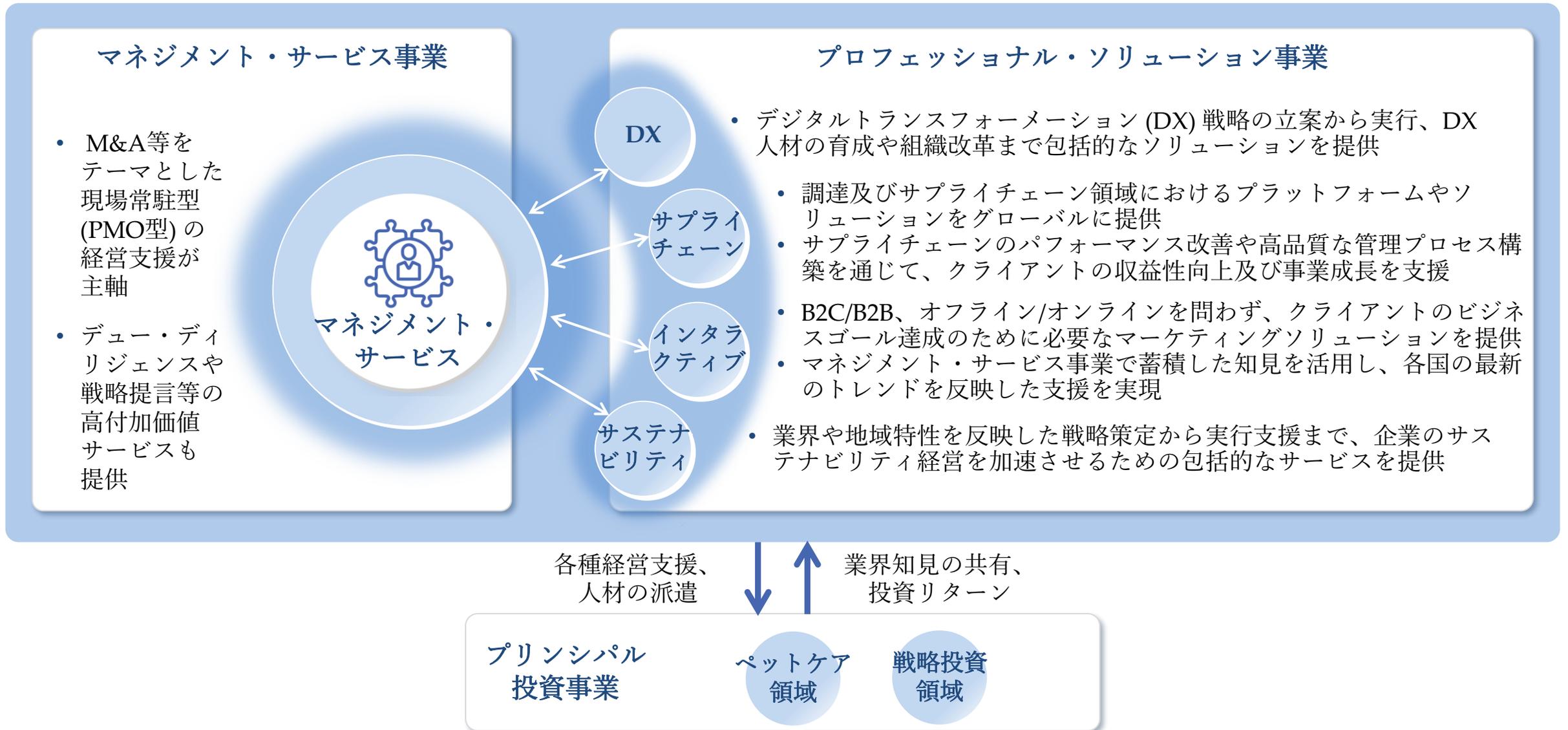
持株会社商号	YCP Holdings (Global) Limited (東京証券取引所グロース市場: 9257)
持株会社住所	20 Collyer Quay #12-06, 20 Collyer Quay, Singapore
持株会社資本金	46,492,680米ドル
グループ事業	1. マネジメント・サービス事業 2. プロフェッショナル・ソリューション事業 3. プリンシパル投資事業
グループ設立	2011年8月
グループ代表者	石田 裕樹
グループ社員数*1	プロフェッショナル数: 471名 投資先を含む総社員数: 729名

グローバル拠点



*1: 2025年3月31日現在。プロフェッショナル数は、プリンシパル投資事業の投資先社員数を除いた数字

事業概要及び当社グループの報告セグメント



決算短信における報告セグメントの変更について

- プロフェッショナル・ソリューション事業の業容拡大にともなって、FY2023/FY2024で開示する領域数を拡大
- 2024年12月に株式会社SOLIAを売却したことを受けて、投資事業パーソナルケア領域を非継続事業に分類し、FY2023/FY2024の業績を修正再表示

		FY2022まで	FY2023	FY2024以降	
マネジメント・サービス事業		DX領域・ インタラクティブ領域・ サステナビリティ領域は マネジメント・サービス 事業と合算して開示	DX領域・ インタラクティブ領域・ サステナビリティ領域は マネジメント・サービス 事業と合算して開示	マネジメント・ サービス事業のみの 業績を開示*1	次頁以降の前年 比較で使用する FY2023の実績に ついては、 本資料用に算出 した未監査の 数値を使用
プロフェッショナル・ ソリューション事業	DX領域 インタラクティブ領域 サステナビリティ領域			プロフェッショナル・ ソリューション事業 として開示	
	サプライチェーン領域			N/A (未参入)	
プリンシパル投資 事業	パーソナルケア領域	(変更なし)	非継続事業に分類 (2024年12月に事業売却)		
	ペットケア領域 戦略投資領域	(変更なし)			

*1：決算短信とは異なり、本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY23においてマネジメント・サービス事業の業績から、DX・インタラクティブ・サステナビリティ領域（未監査）を切り出して表示

過年度の業績推移

- FY2024通期において、売上127.5百万米ドル (201.7億円*1)、営業利益(調整後)*2 9.9百万米ドル (15.6億円*1) を達成
- 売上収益及び営業利益(調整後)*2は株式会社SOLIAの業績を除外する前のもの
- SOLIAの影響を除外した営業利益はカッコ内に表示

- プロフェッショナル・ソリューションの報告開始
- 株式会社SOLIAを売却

(百万米ドル)

--- SOLIA

■ プリンシパル投資事業

■ プロフェッショナル・ソリューション事業

■ マネジメント・サービス事業

● 営業利益(調整後)*2

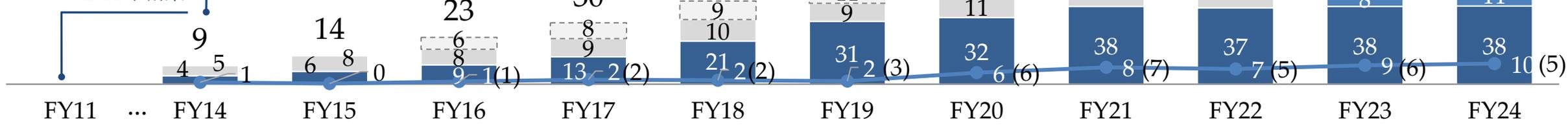
- Consus Global社との経営統合
- サプライチェーン・ソリューション領域の報告開始
- Auctus Advisors社との経営統合

- シンガポールに本社機能を移管
- 東京証券取引所グロース(旧マザーズ)に上場

- Solidiance Asia Pacific社と経営統合

- 香港に本社機能を設置

- 2011年創業



実績*3

*1: 日本円への換算は、1ドル=149.53円(2025年3月31日の為替レート)により計算

*2: 一過性の非資金取引(子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パッチェスによる利得等)を除外した営業利益

*3: FY18以前の情報は上場前の参考値

円ベースによる過年度の業績推移

- 前頁のグラフを各会計年度末(計画値については直近会計年度末)のドル円レートで日本円に換算した数値は以下のとおり
- 売上収益及び営業利益(調整後)*2は株式会社SOLIAの業績を除外する前のもの
- SOLIAの影響を除外した営業利益はカッコ内に表示

(億円)

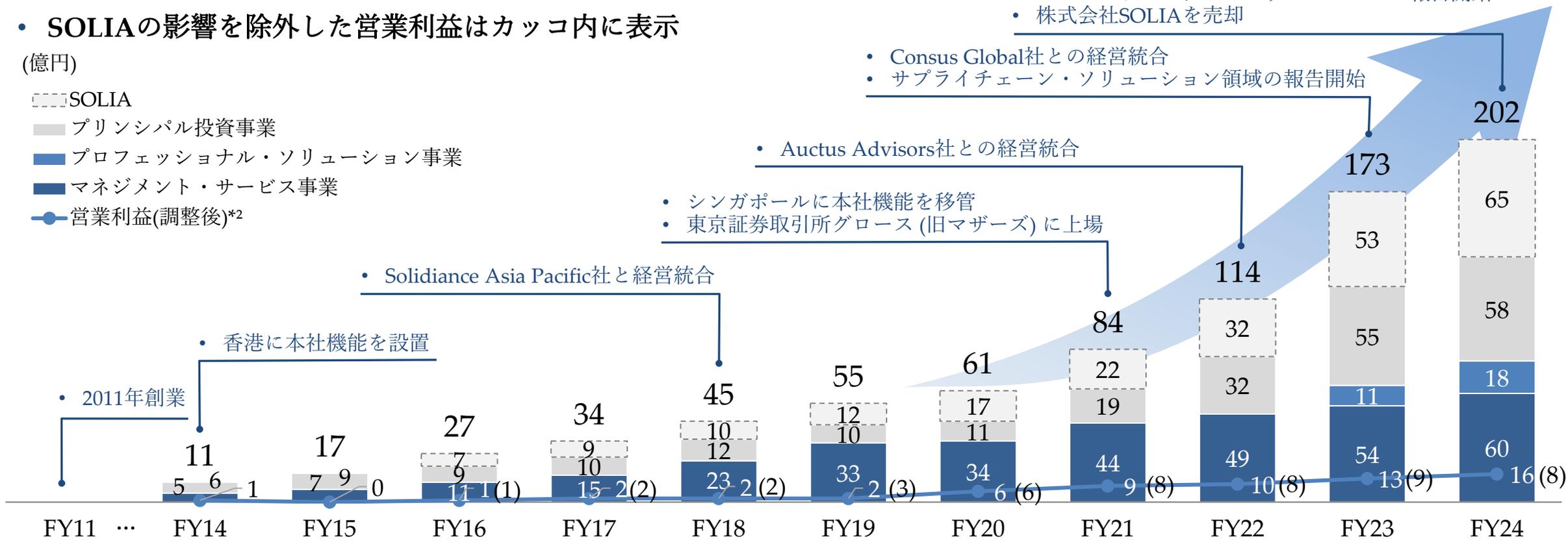
□ SOLIA

■ プリンシパル投資事業

■ プロフェッショナル・ソリューション事業

■ マネジメント・サービス事業

● 営業利益(調整後)*2



実績*1

1ドル = 120.53 120.54 116.53 113.05 110.91 109.55 103.52 115.02 132.70 141.82 158.17 (円)

*1: FY18以前の情報は上場前の参考値

*2: 一過性の非資金取引(子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パッチェスによる利得、のれんの減損等)を除外した営業利益

2025年12月期 第1四半期業績



FY2025 第1四半期業績ハイライト

FY2025 第1四半期業績

売上収益	前年対比*2	計画比*2
23.1 百万米ドル (34.5億円*1)	110.4%	111.7%

営業利益	前年対比*2	計画比*2
1.2 百万米ドル (1.8億円*1)	110.4%	224.7%

当期利益	前年対比*2	計画比*2
0.5 百万米ドル (0.7億円*1)	68.9%	149.3%

*1：日本円への換算は、1ドル=149.53円(2025年3月31日の為替レート)により計算

*2：株式会社SOLIAの業績を除外したFY2024実績と比較

ハイライト

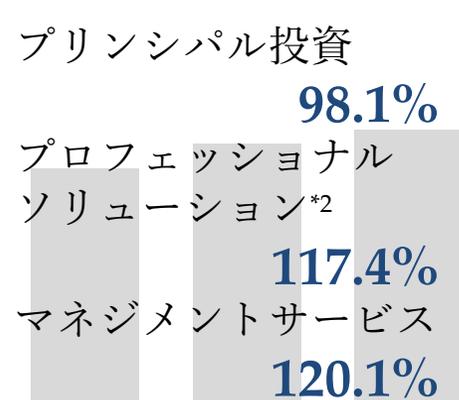
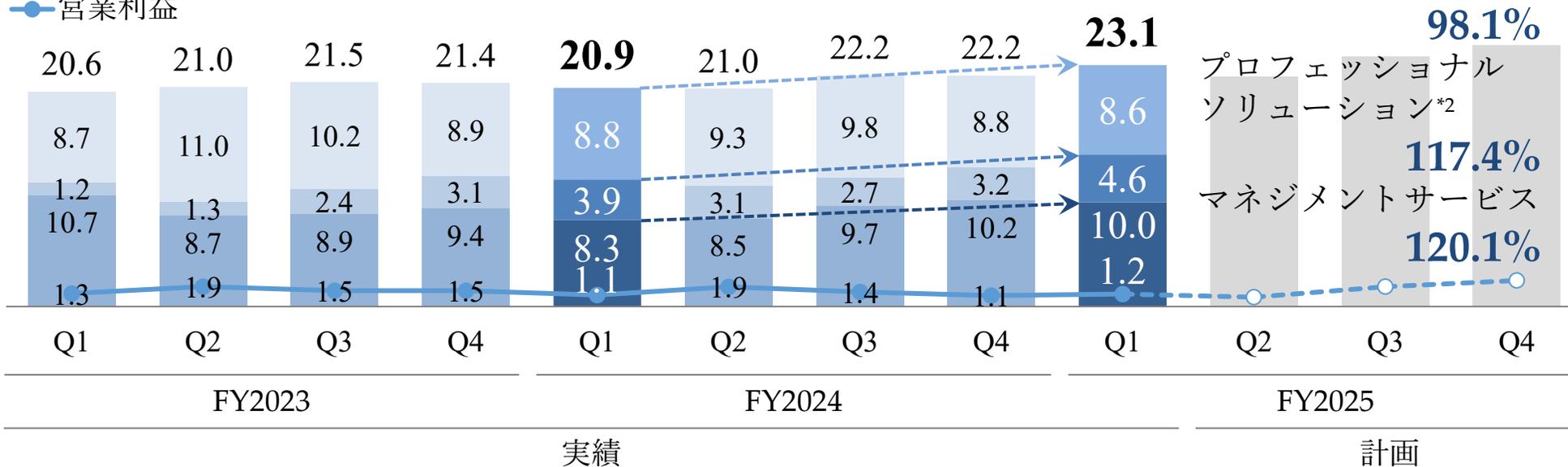
- FY2025 Q1は、売上収益、営業利益ともに、前年同期及び期初業績予想を上回る堅調な進捗となった
- マネジメントサービス事業においては、円安や中国の景気低迷の影響がありつつも、日本地域で案件獲得が順調に進展したほか、インド地域でも安定した受注状況が続き、売上収益は前年対比120.1%、セグメント利益は前年対比83.1%となった
- プロフェッショナルソリューション事業においては、昨年10月のソリューション領域への参画及びサプライチェーンソリューション領域の収益改善により、売上収益は前年対比117.4%、セグメント利益は前年対比175.0%と大幅な増収増益となった
- プリンシパル投資事業では、ペットケア領域、戦略投資ともに今期業績予想を上回る堅調な推移となったものの、前期中に実施した動物病院の売却等の影響により、売上収益が前年対比98.1%、セグメント利益が前年対比115.3%となった
- 結果として、グループ連結売上収益は前年対比110.4%、営業利益は前年対比110.4%となった。なお、2024年12月に実施した株式会社SOLIA売却の影響により当期利益は前年対比68.9%となったものの、期初業績予想に対しては149.3%と堅調な推移となった

FY2025 Q1 グループ連結業績

FY2025 Q1は、円安や中国の景気減速の影響を受けつつも、マネジメント・サービス事業及びプロフェッショナル・ソリューション事業が堅調し推移、売上収益23.1百万米ドル (34.5億円*1)、営業利益1.2百万米ドル (1.8億円*1) とグループ連結で増収増益を実現、期初業績予想に対しても100%を超える進捗率で着地

売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)

- マネジメント・サービス事業
- プロフェッショナル・ソリューション事業*2
- プリンシパル投資事業
- 営業利益



YoY売上収益:
グループ連結
110.4%

YoY営業利益:
グループ連結
110.4%

*1: 日本円への換算は、1ドル = 149.53円 (2025年3月31日の為替レート) により計算

*2: プロフェッショナルソリューション事業は、サプライチェーン領域・DX領域・インタラクティブ領域の3領域の合計の数値。FY2023の数値は未監査

日本地域のリーダーシップ強化

- 当社グループ創業の地 日本でのさらなる事業成長に向けて、新たに9名のパートナーが参画
- 総勢15名の経験豊富なリーダーシップ陣が先頭に立ち、収益とプロフェッショナル人員の大幅な拡大を目指す
- 組織拡大を見据え、2025年夏には既存の本社に加えて東京都内に新オフィスを開設予定

リーダーシップ (2025年3月31日現在)



松岡 真宏 (新任)

マネージングパートナー

日本地域統括責任者

マネジメント・サービス



鮫島 伸二郎

パートナー



鉄本 大樹

パートナー



片野 大輔 (新任)

マネージングパートナー



小池 真史 (新任)

パートナー



伊藤 聞多

パートナー



彦坂 春暉

パートナー



今野 正弘 (新任)

パートナー



近藤 俊明 (新任)

パートナー

DX



小野 孝倫

マネージングパートナー
事業部日本代表



遠藤 一哲

パートナー



佐藤 司 (新任)

パートナー



白石 隼人 (新任)

パートナー

サステナビリティ



飯倉 加奈 (新任)

パートナー

Green Impact Labs COO



栞野 恵也 (新任)

パートナー

Green Impact Labs CSO

各事業のご紹介：
マネジメント・サービス事業



マネジメント・サービス事業のご紹介

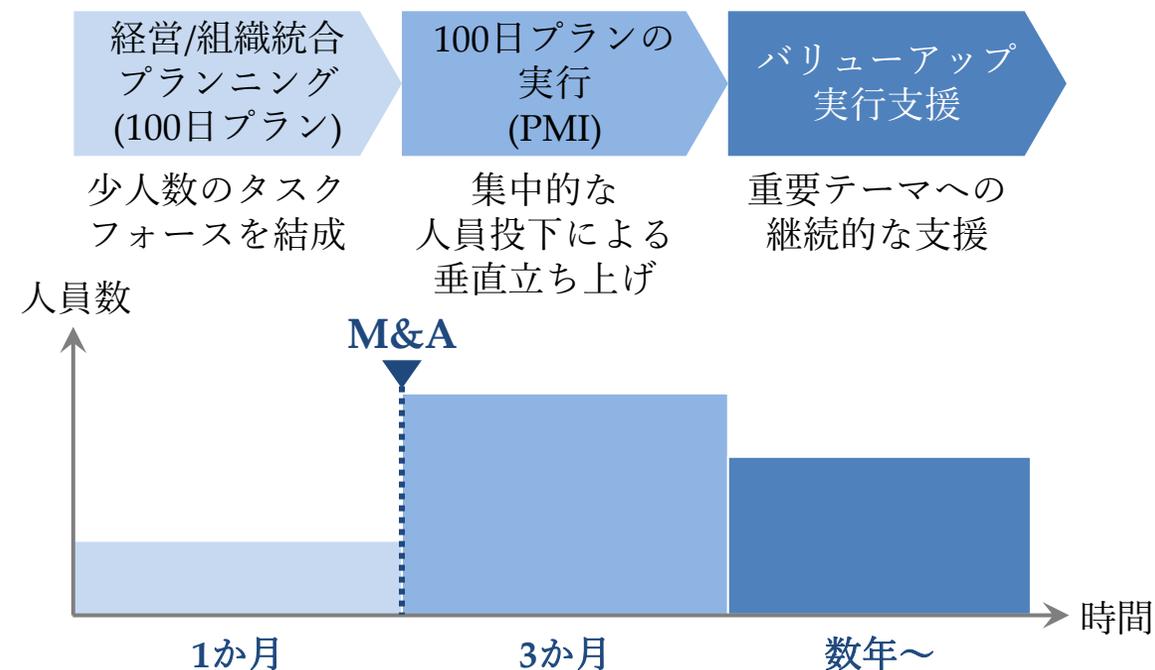
YCP Professional、YCP Auctusの2ブランドで展開するマネジメント・サービス事業では、M&AやDX導入をテーマにした現場常駐型 (PMO型) の経営支援サービスをアジア全域で提供し、事業部売上の約8割を占める

PMO (Project Management Office) とは



M&AやDX導入など大きな企業変革を伴う際に、部門を横断して柔軟に実行支援をサポートする特務組織

M&AにおけるPMO支援のイメージ

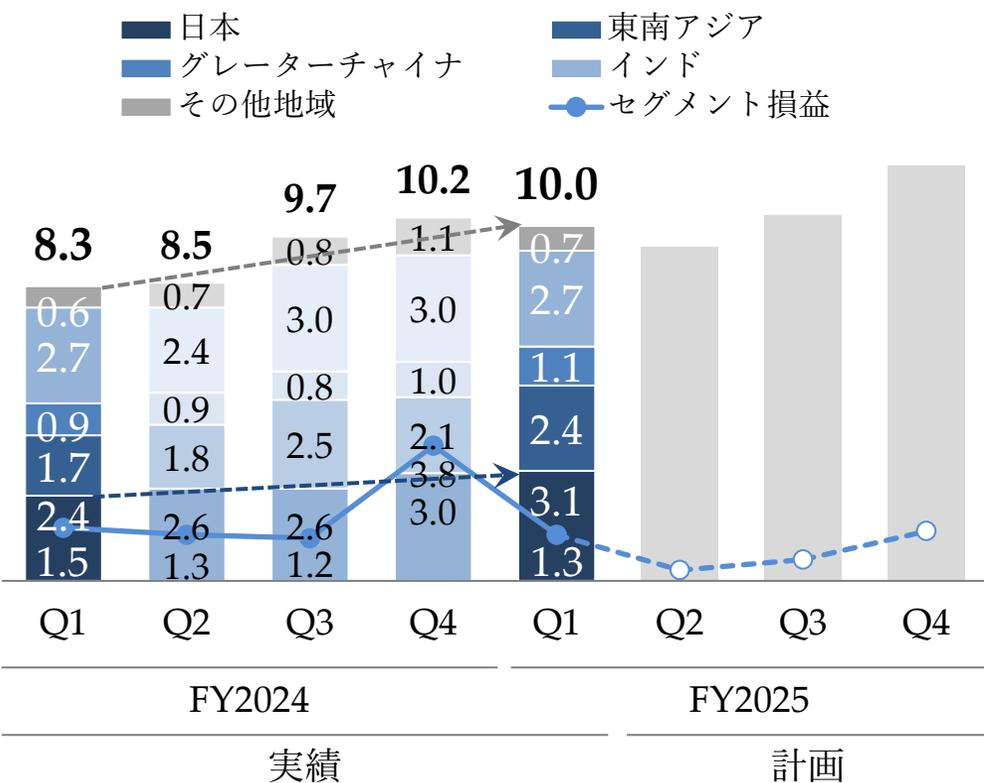


M&A実行の1か月前から支援を開始し、PMOとして長期に渡って常駐型での支援を継続

マネジメント・サービス事業の業績

FY2025 Q1は、売上収益10.0百万米ドル (14.9億円^{*1})、セグメント損益1.3百万米ドル (1.9億円^{*1}) で着地。円安及び中国の景気低迷の影響を受けつつも、日本地域で案件獲得が順調に進展したほか、他地域でも安定した受注状況が続き、事業部全体で売上収益がYoY120.1%となった。一方、日本及びインド地域で積極的な採用活動を行った結果、セグメント損益はYoY83.1%となった

業績推移^{*2} (百万米ドル)



売上収益:

10.0百万米ドル
(14.9億円)

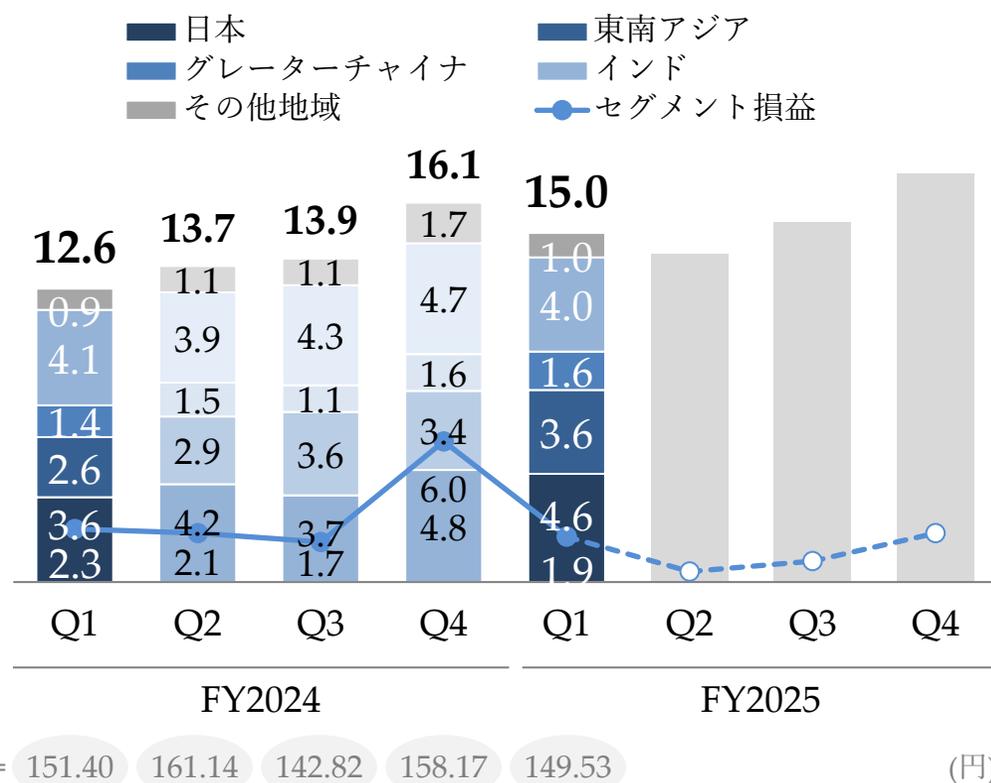
海外売上比率:

69.0%

セグメント損益:

1.3百万米ドル
(1.9億円)

日本円での業績推移^{*1,2} (億円)



1ドル = 151.40 161.14 142.82 158.17 149.53 (円)

*1: 日本円への換算は、各四半期期末時点の為替レートを適用

*2: 決算短信とは異なり、本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY24におけるマネジメント・サービス事業の業績は、DX・インタラクティブ領域の業績を除外した数値(未監査)を使用

各事業のご紹介：

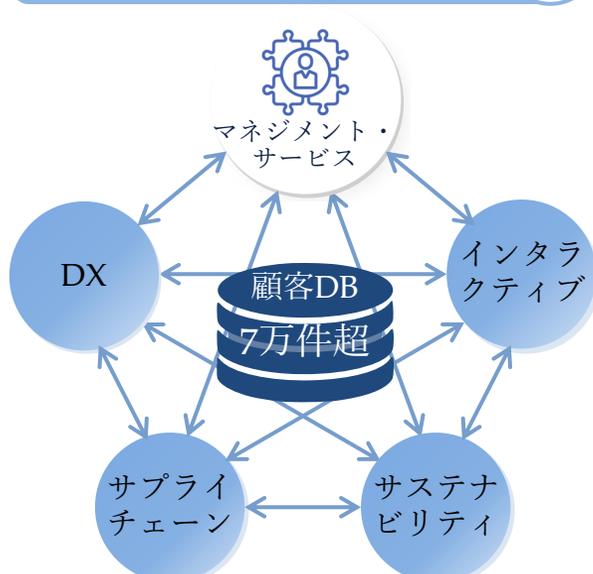
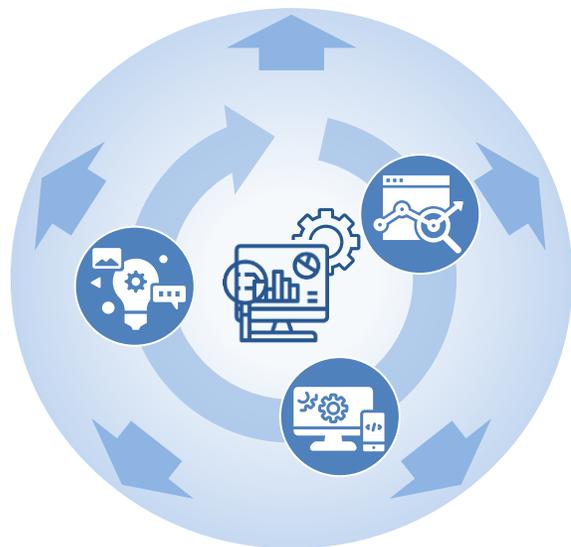
プロフェッショナル・ソリューション事業



プロフェッショナル・ソリューション事業のご紹介

DXやサプライチェーン等、クライアントから引き合いの多い領域に特化した事業部を新設し、ソリューション定型化によるスケラビリティの追求、及び事業部間でのクロス・アップセルを通じた事業拡大を狙う

グループとしての成長戦略



ソリューションサービス各領域の概要

デジタルトランスフォーメーション (DXD) クライアントのデジタル企業変革、デジタル新規事業の立案

インタラクティブ・ソリューション (ISD) 認知・集客強化からクロスボーダーでのECプラットフォームの提供に至る一連のワンストップサービスの提供

サプライチェーン・ソリューション (SCD) 調達安定化・コスト削減、業務効率化・DX化など、サプライチェーン領域におけるソリューション提供

サステナビリティ・ソリューション (SSD) 企業のサステナビリティ経営を加速させるための、業界や地域特性を反映した包括的なサービスを提供

2022年
5月新設

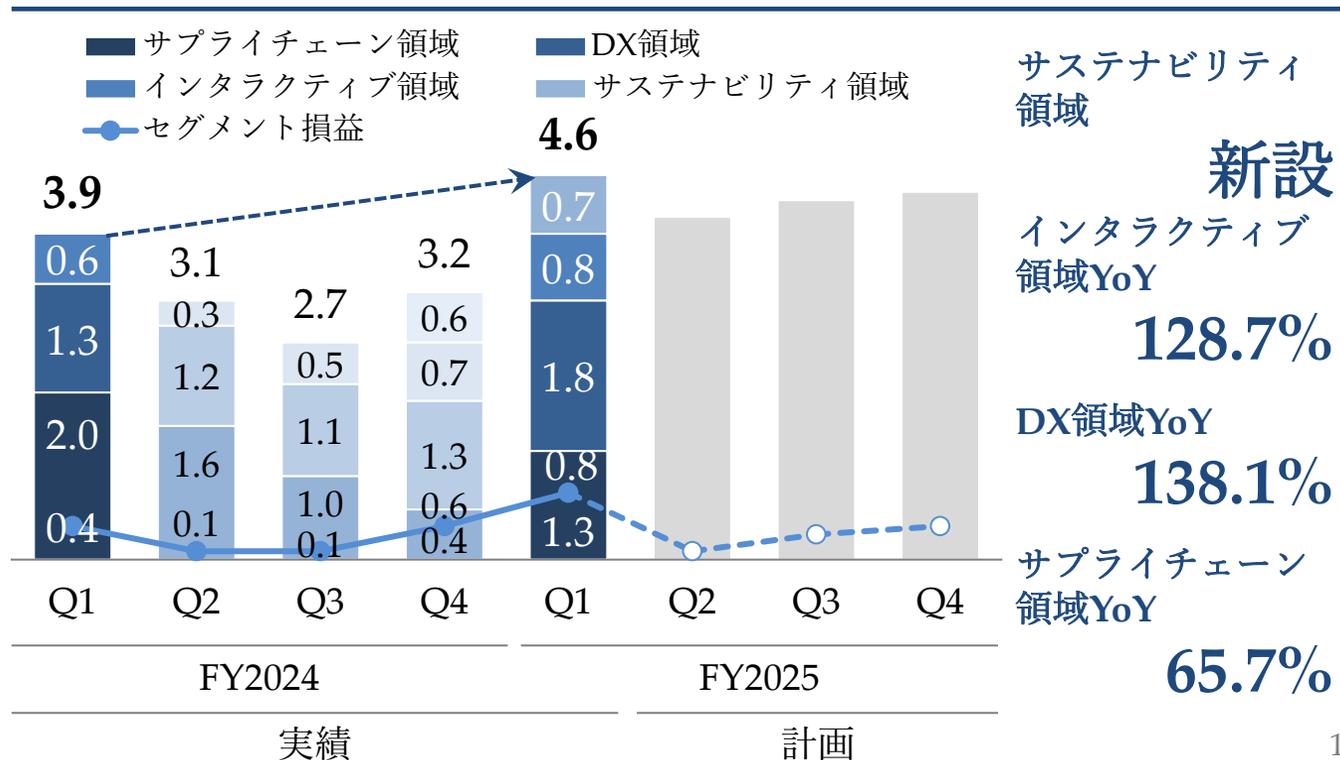
2023年
4月新設

2024年
10月新設

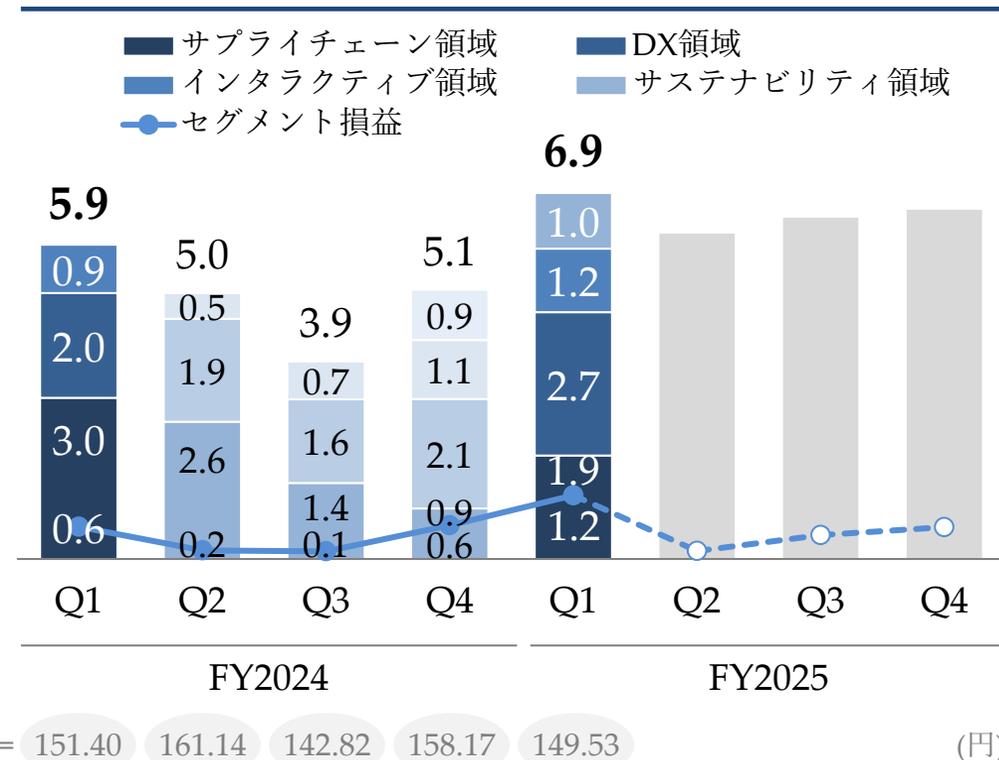
プロフェッショナル・ソリューション事業の業績

2024年10月、サステナビリティに関するコンサルティングサービスに特化した「Green Impact Labs」を完全子会社化し、サステナビリティ領域に進出。同領域で新たに0.7百万米ドル(1.0億円^{*1})の売上を新たに創出したほか、インタラクティブソリューション領域及びDX領域の業績は堅調に推移した。サプライチェーン領域では収益性改善のために拠点及び人員の整理を実施した影響により減収となったものの、事業部全体で売上収益がYoY117.4%、セグメント損益がYoY175.0%と大幅な増収増益を実現した

業績推移^{*2} (百万米ドル)



日本円での業績推移^{*1,2} (億円)



*1: 日本円への換算は、各四半期末時点の為替レートを採用

*2: 決算短信とは異なり、本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY24のDX・インタラクティブ領域の業績については社内集計値(未監査)を使用。また、セグメント損益は減損等の一過性の非資金取引の影響を除外した数値

各事業のご紹介：
プリンシパル投資事業



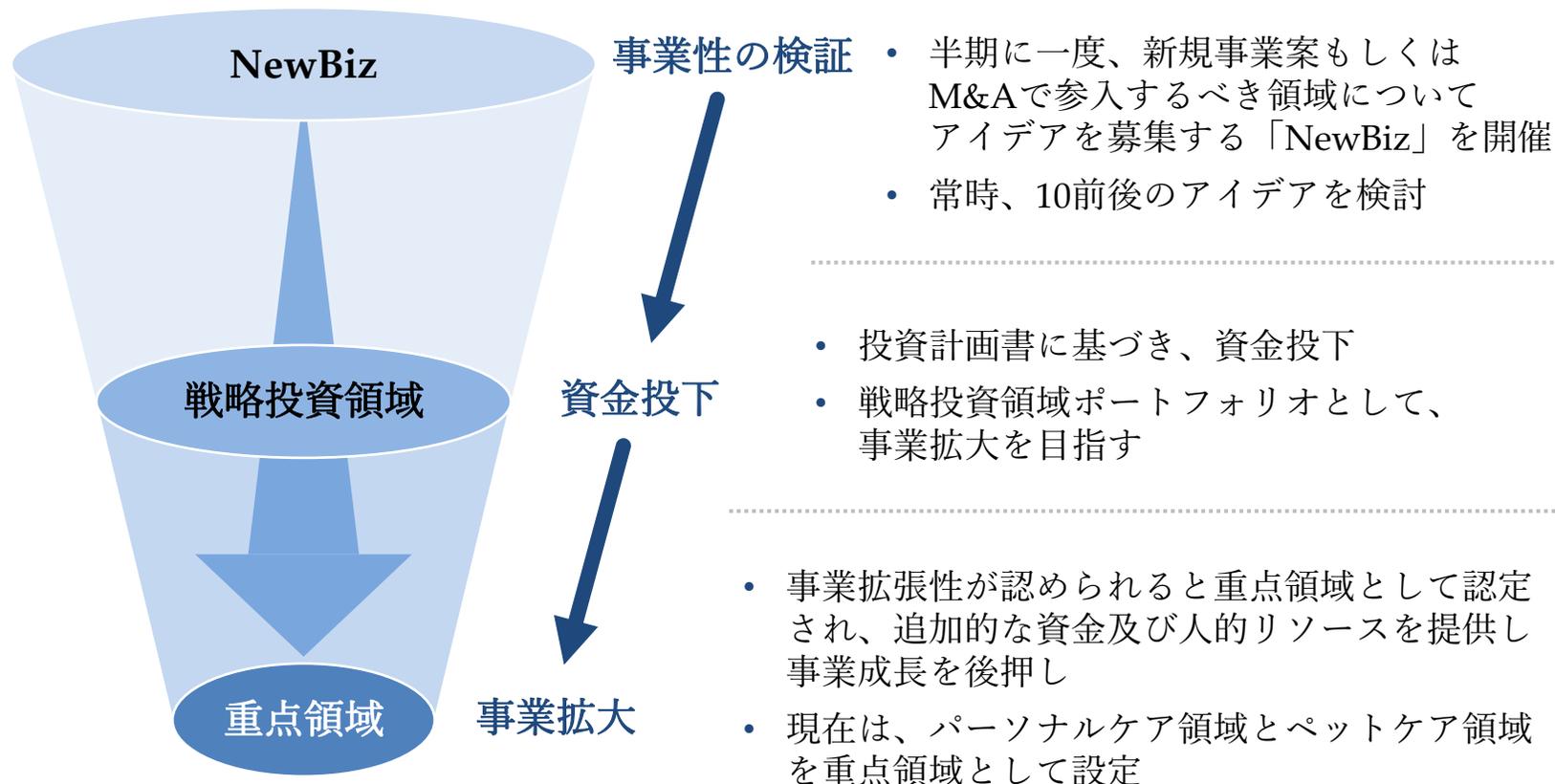
プリンシパル投資とは

マネジメント・サービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小/新興企業に対して自己資金を投下

投資要件

1. 売上100百万米ドル以上の事業規模が見込まれる
2. グループの人材プラットフォームを活用しグローバル展開が可能
3. 投資規模が借入を含めて20百万米ドル以下
4. 30%以上のIRR (内部収益率)
5. グループのプロフェッショナルにとって、「Strive for Growth」を実現できる良い学びの機会

プリンシパル投資事業の立ち上げから拡大までの流れ



ペットケア領域のご紹介

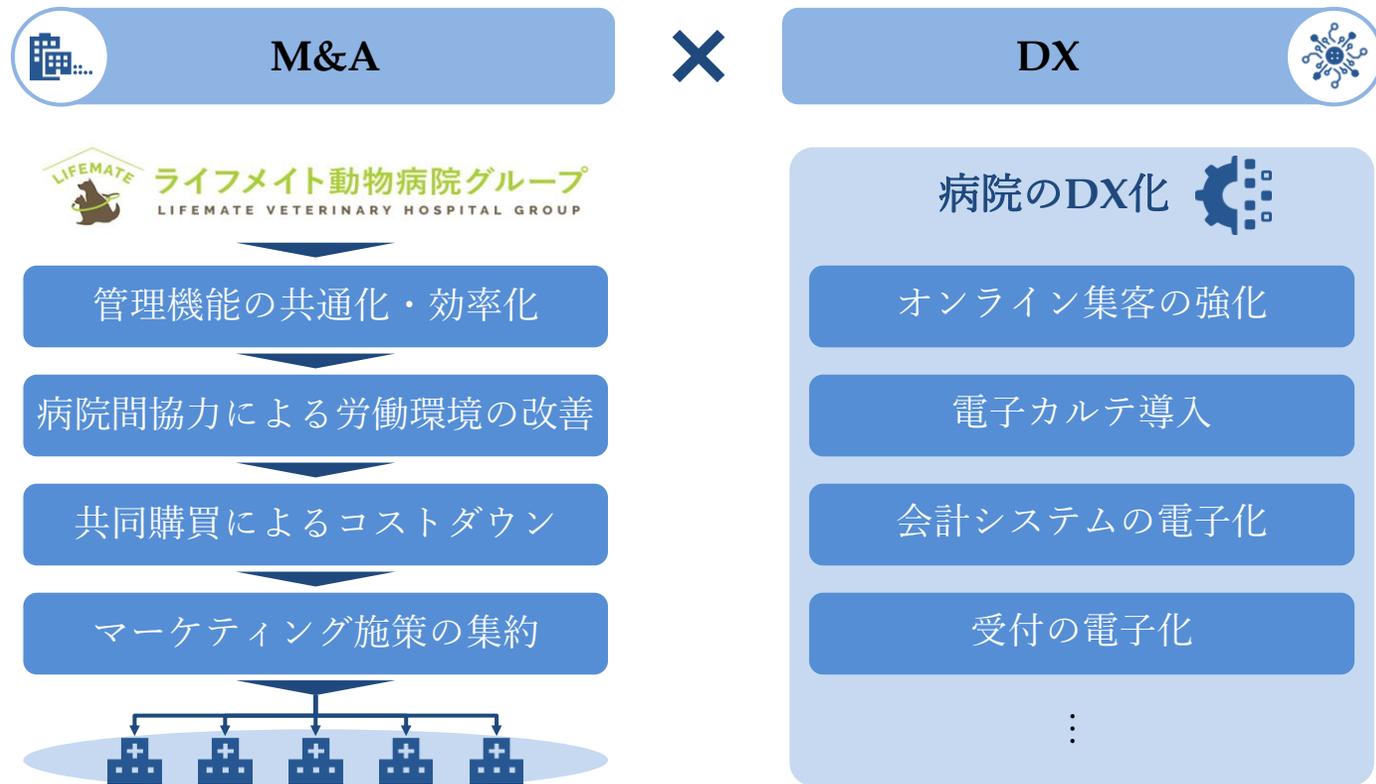
事業承継を通じた動物病院のグループ化、および承継病院のDX化を通じた事業のスケールアップを目指す。現在、高度医療病院を4施設、一次診療を担う動物病院を6施設と、計10病院を所有、運営している

動物病院の運営



事業承継による複数の動物病院をグループ化。現在は、関東及び北海道において10病院を運営しており、加えて常時複数のM&A案件を検討している

事業戦略



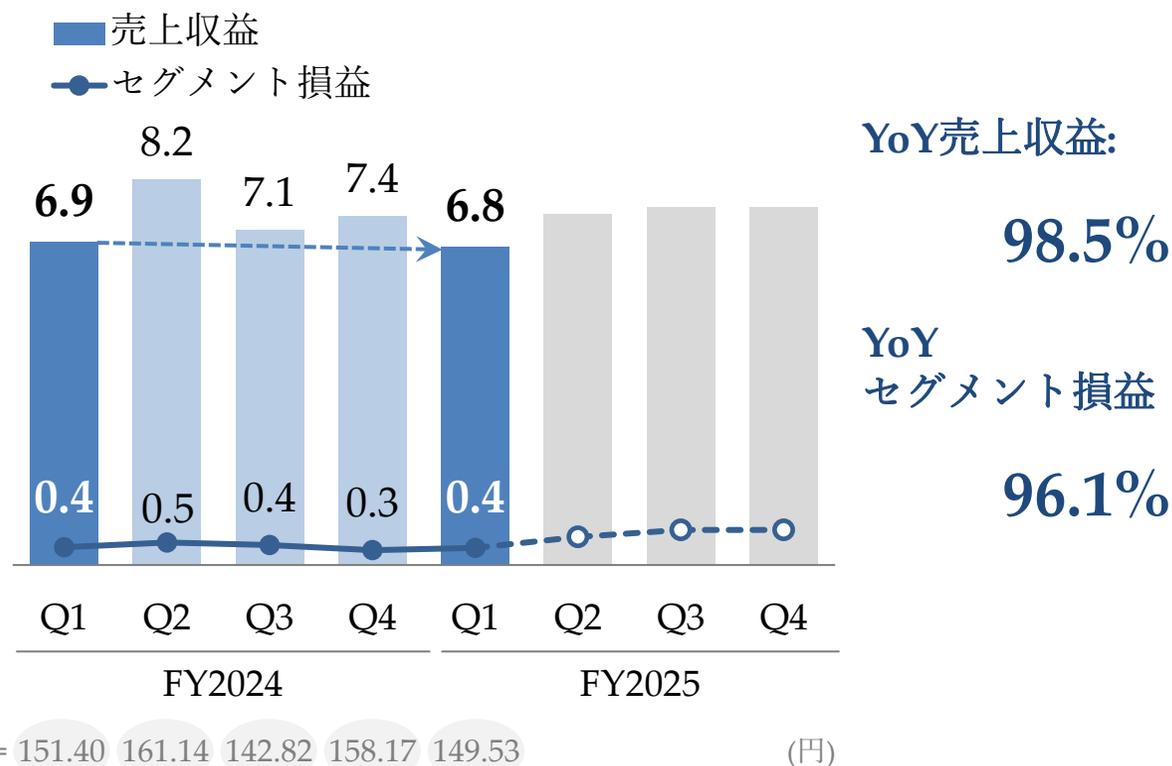
ペットケア領域の業績

FY2025 Q1は売上収益4.5百万米ドル (6.8億円*1)、セグメント損益0.2百万米ドル (0.4億円*1) で着地。各病院の業績は堅調に推移したものの、2024年9月に実施した病院の事業譲渡の影響により、若干の減益となった。

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 日本円での業績推移* (億円)



*1: 日本円への換算は、各四半期末時点の為替レートを適用

戦略投資領域のご紹介

将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対しても、戦略投資領域として積極的に投資を実行。
主には、シンガポール及び香港における日本食レストランや、シニア向けサービス等を展開

飲食領域



GO Food



「食を通じて、世界中の人々により多くの笑顔届けたい」というミッションのもと、調理プロセスの最適化、徹底的なオペレーションの効率化を行い、ハイクオリティな日本食ブランドを海外へ展開

シニア領域



管理不要・後継者不要・宗派不問の自動搬送式納骨堂の販売事業を展開

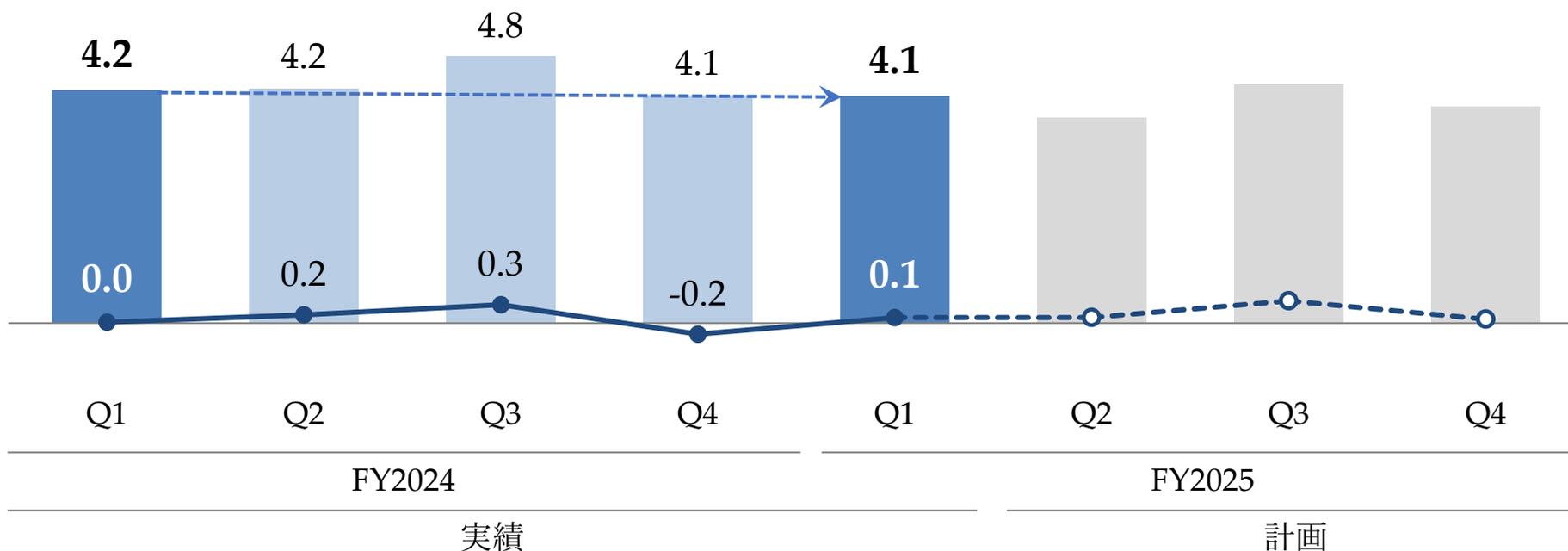
戦略投資領域の業績

FY2025 Q1は、各投資先とも概ね堅調に推移し、売上収益は4.1百万米ドル (6.1億円*1)で前年同期とほぼ同水準、調整後*2セグメント損益は0.1百万米ドル (0.1億円*1)で増益となった

業績推移 (百万米ドル)

■ 売上収益

● 調整後セグメント損益*2



YoY売上収益:

96.3%

YoY
調整後*2セグメント損益

379.7%

*1: 日本円への換算は、1ドル=149.53円(2025年3月31日の為替レート)により計算

*2: 調整後セグメント損益=子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バークン・パーチェスによる利得など、本業以外の活動による一過性の非資金取引を除外したセグメント損益

2025年12月期 業績予想

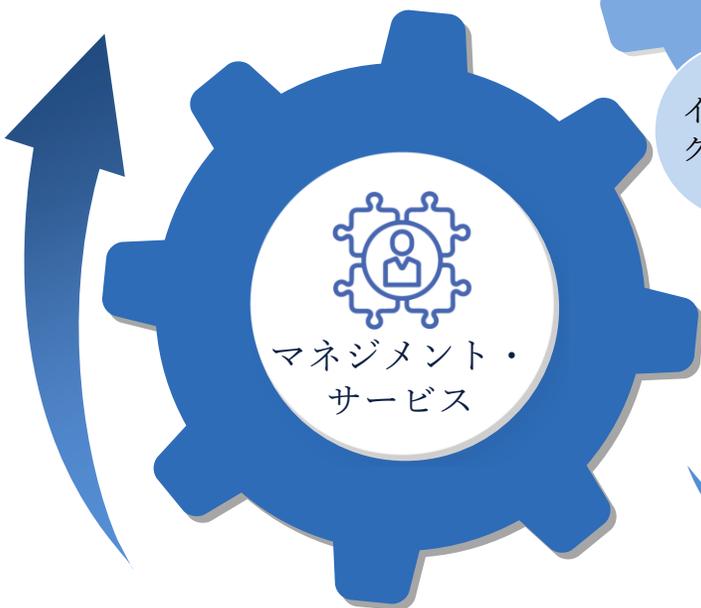


グループ全体の成長戦略

グループの根幹をなすマネジメント・サービス事業のオーガニックな成長と並行して、蓄積した知見をプロフェッショナル・ソリューション事業やプリンシパル投資事業に還元、3事業を一体として成長を実現する好循環を生み出す

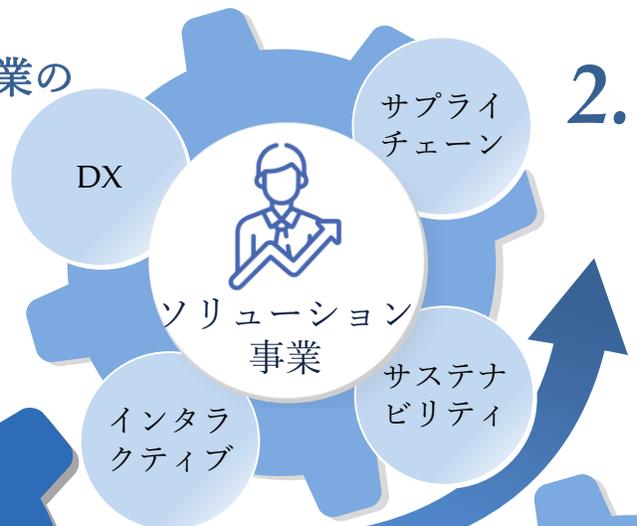
1. マネジメント・サービス事業のオーガニック成長

人員体制の継続的な増強を図り、国内外で需要を捉えながら、知見・ネットワークを蓄積



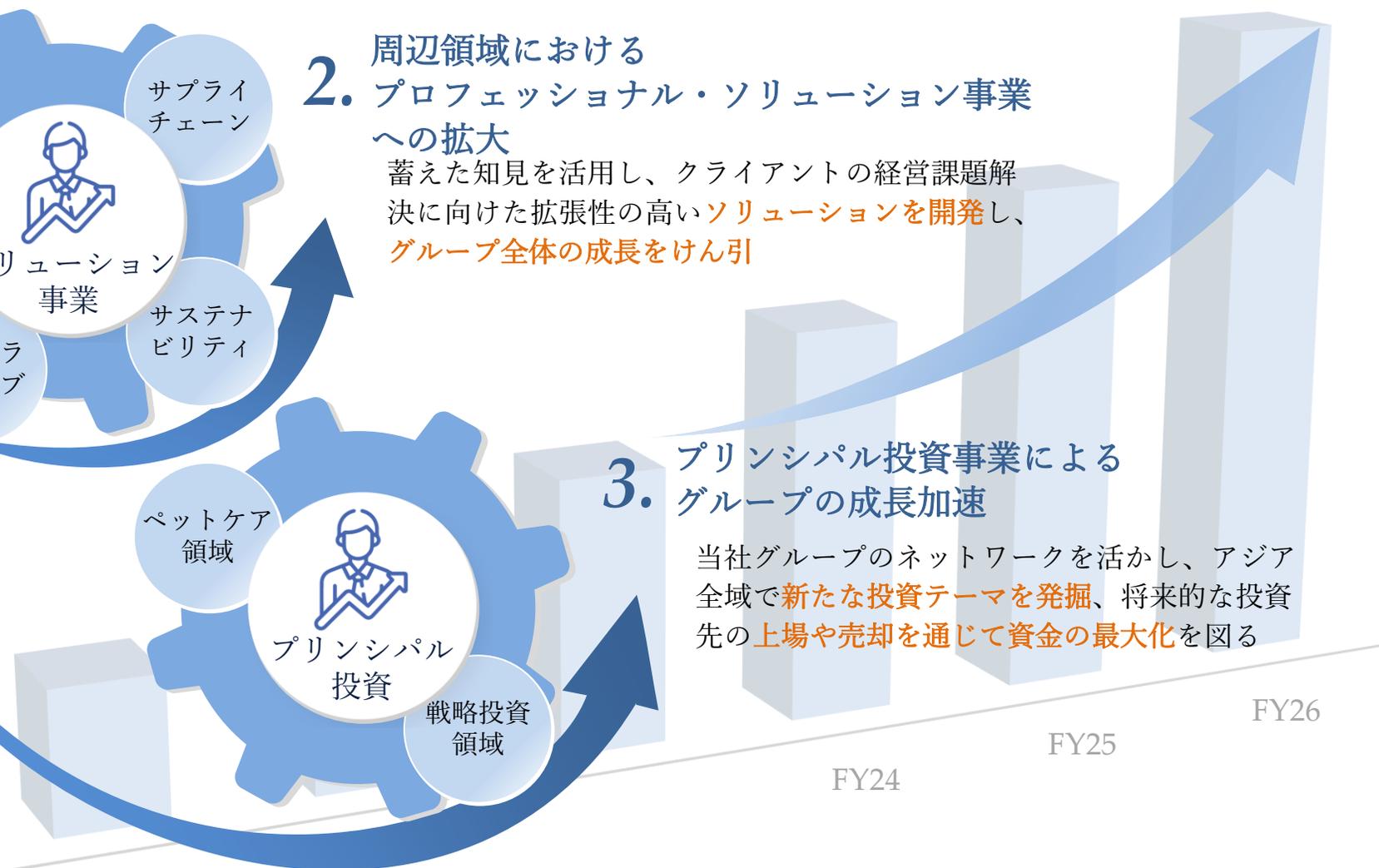
2. 周辺領域におけるプロフェッショナル・ソリューション事業への拡大

蓄えた知見を活用し、クライアントの経営課題解決に向けた拡張性の高いソリューションを開発し、グループ全体の成長をけん引



3. プリンシパル投資事業によるグループの成長加速

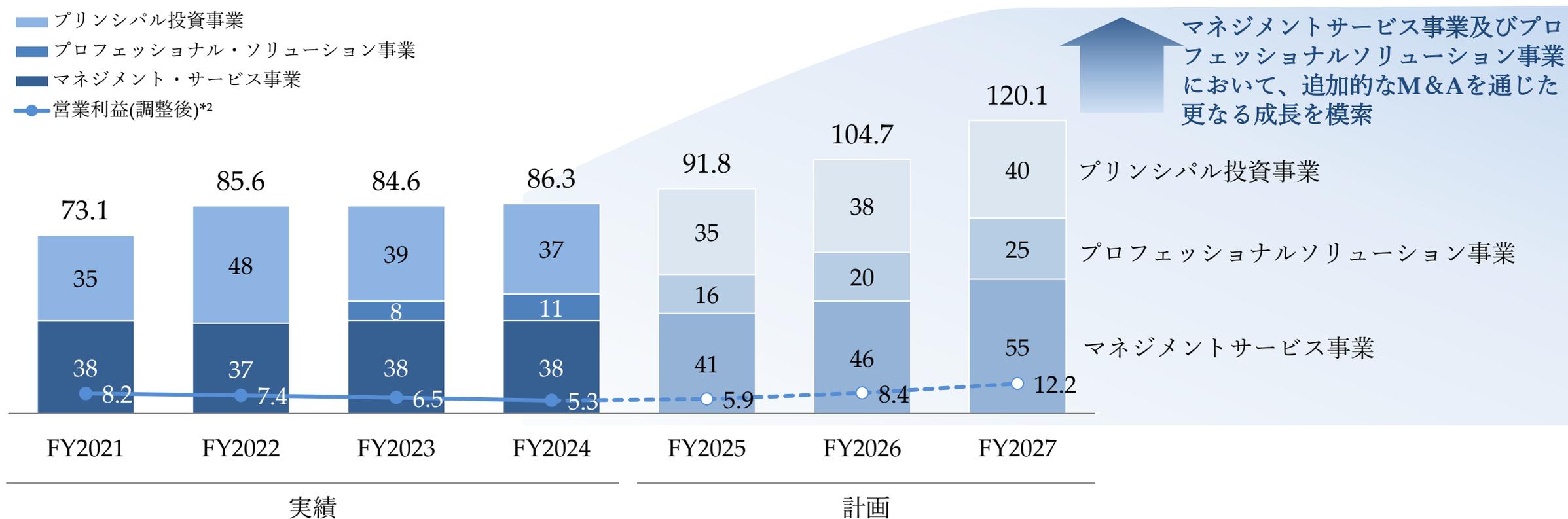
当社グループのネットワークを活かし、アジア全域で新たな投資テーマを発掘、将来的な投資先の上場や売却を通じて資金の最大化を図る



2025年12月期 中期経営計画

グループ連結では、オーガニック成長でFY2027までに売上収益120.1百万米ドル (189.9億円*1)、営業利益12.2百万米ドル (19.2億円*1)を必達目標として掲げる。加えて、計画には織り込んでいないM&Aも積極的に検討し、より一層の業績拡大を目指す。

売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)



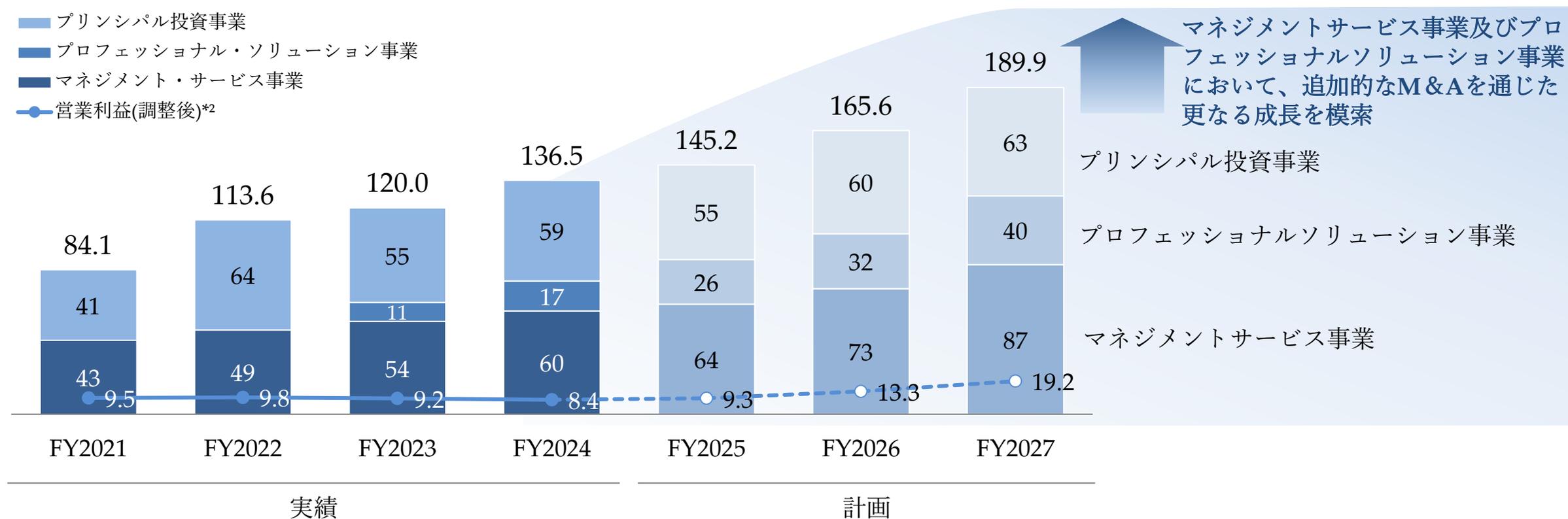
*1: 日本円への換算は、1ドル = 149.53円 (2025年3月31日の為替レート) により計算

*2: 一過性の非資金取引 (子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バークゲン・パーチェスによる利得、のれんの減損等) を除外した営業利益

2025年12月期 中期経営計画 (円ベース)

グループ連結では、オーガニック成長でFY2027までに売上収益120.1百万米ドル (189.9億円*1)、営業利益12.2百万米ドル (19.2億円*1)を必達目標として掲げる。加えて、計画には織り込んでいないM&Aも積極的に検討し、より一層の業績拡大を目指す。

売上収益・営業利益推移 (億円)



*1: 日本円への換算は、各期末レート(計画値についてはFY2024末のレート)により計算

*2: 一過性の非資金取引(子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パッチェスによる利得、のれんの減損等)を除外した営業利益

株主還元の方針

2024年12月19日、株主還元の方針変更(優待の廃止及び配当の開始)を発表。2025年12月期の中間配当以降、以下の目標に従って配当を実施する予定

配当可能利益のうち、
各事業から生じた経常的な利益

配当可能利益のうち、マネジメント・サービス事業、プロフェッショナル・ソリューション事業及びプリンシパル投資事業から生じた経常的な利益については、その50%を目標として中間配当額・期末配当額を決定する。

配当可能利益のうち、
売却益等の一時的な収益

子会社、事業及び固定資産の売却損益ならびに金融資産の評価益等の一時的な資金については、原則としてM&A等の将来の事業展開と経営体質の強化のために活用した後、なおも余剰資金が存在する場合には当社JDRの取得(いわゆる自社株買い)等を通じた還元に充当する。

1株当たり配当金予想	第2四半期末	期末	合計	配当性向(予定)
米ドル (日本円*2)	0.02米ドル (3.02円)	0.07米ドル (10.40円)	0.09米ドル (13.42円)	50%

*1: 日本円での予想は、米ドル建ての金額を1ドル = 149.53円(2025年3月31日の為替レート)で換算した値であり、実際の円建て分配金とは異なります

*2: 2025年12月期の中間配当(基準日: 2025年6月30日)から配当の支払いを開始する予定です

*3: JDR受益者の皆様に対しては、当社JDRの信託受託者である三菱UFJ信託銀行及び日本マスタートラスト信託銀行会社が配当を受領した後、両社からの分配金として日本円で支払われます

質疑応答



ご質問方法 (オンラインからご参加の方)

■ ご発言



「手を上げる」を押下ください

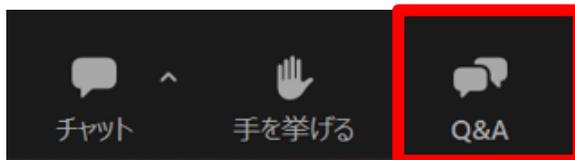


事務局でご指名後、上記画面が表示されましたら「ミュート解除」を押下し、ご発言ください



ご質問終了後は、「手を降ろす」を押下ください

■ テキスト



「Q&A」を押下ください



Q&A入力画面が表示されます



質問をご記入の上、「送信」を押下ください

IRニュースレターのご案内

当社グループの最新IR情報をお届けいたします。

ぜひ、当社ホームページ（<https://corporate.ycp.com/ja>）の「IRトップ」ページからご登録ください。

IRトップページへのURLリンク：

<https://corporate.ycp.com/ja/investor-relations/ir-top>

IRニュースレターのご購読はこちらから

YCP Holdingsの投資家向けレポートや最新情報をお届けします。

氏名

メールアドレス

購読する →

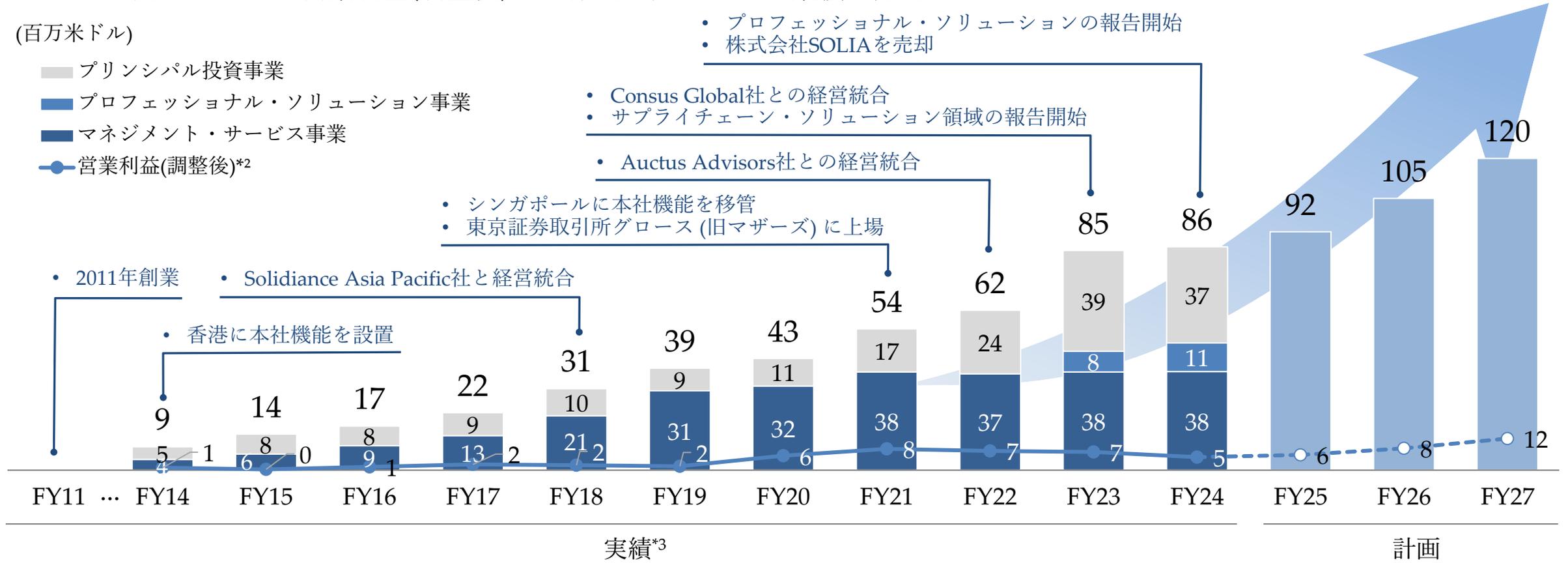
当社グループは、個人情報の保護に配慮しています。詳細は[プライバシーポリシー](#)をご確認ください。



業績推移

- FY2024通期において、売上86.3百万米ドル (136.5億円*1)、営業利益(調整後)*2 9.2百万米ドル (14.5億円*1) を達成
- FY2024以前の売上収益は株式会社SOLIAの業績を除外したもの
- FY2023及びFY2024の営業利益(調整後)*2は株式会社SOLIAの業績を除外したもの

(百万米ドル)



*1: 日本円への換算は、1ドル=149.53円(2025年3月31日の為替レート)により計算

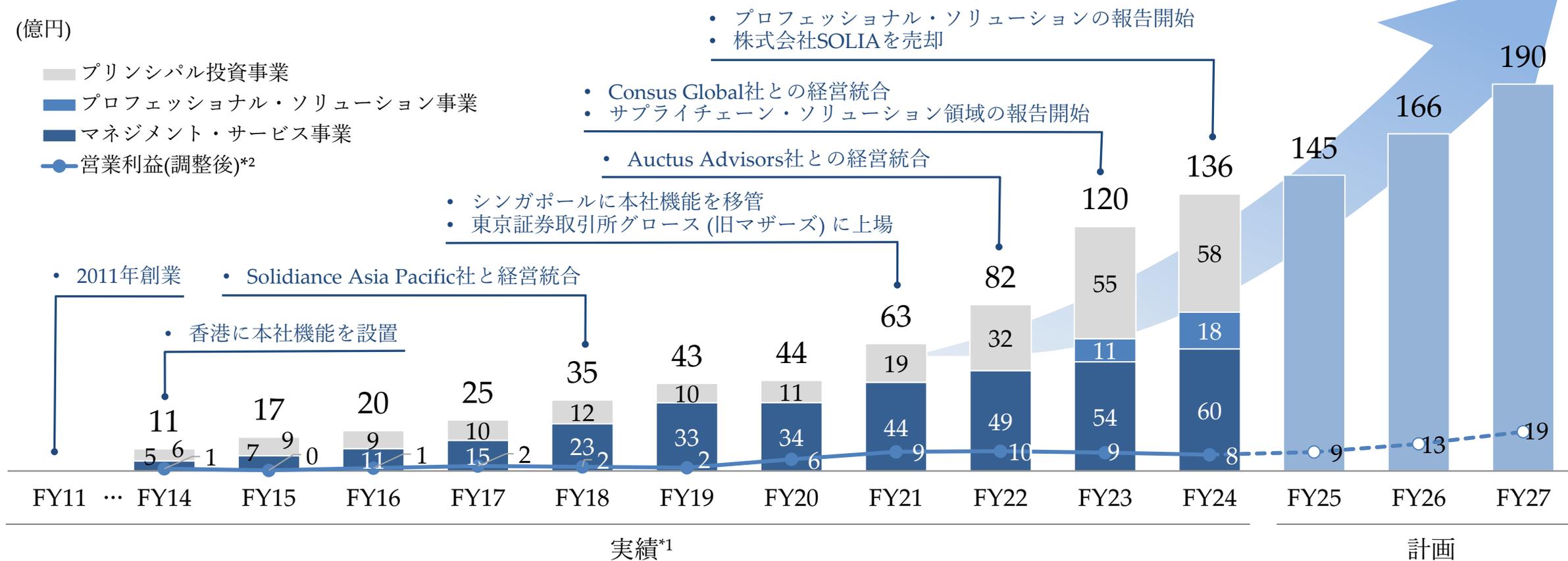
*2: 一過性の非資金取引(子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バークン・パーチェスによる利得、のれんの減損等)を除外した営業利益

*3: FY18以前の情報は上場前の参考値

円ベースによる業績推移

- 前頁のグラフを各会計年度末 (計画値については直近会計年度末) のドル円レートで日本円に換算した数値は以下のとおり
- FY2024以前の売上収益は株式会社SOLIAの業績を除外したもの
- FY2023及びFY2024の営業利益(調整後)*2は株式会社SOLIAの業績を除外したもの

(億円)



*1: FY18以前の情報は上場前の参考値

*2: 一過性の非資金取引 (子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パーチェスによる利得、のれんの減損等) を除外した営業利益

